

平成24年度応急仮設住宅（プレハブ）入居者健康調査実施要領

1 調査の目的

変化する被災者の健康状況を把握し、潜在化している要フォロー者に対して具体的な健康支援事業等に結びつけることを目的として実施する。また、市町村間の比較検討や必要な支援を実施するための基礎資料とすることを目的とする。

2 調査主体 宮城県・応急仮設住宅（プレハブ）管理市町（10市町）

3 調査時期 平成24年9月から10月

4 対象者 県内市町（10市町）が管理する応急仮設住宅（プレハブ）の入居者全員

5 調査項目

(1) 個人属性

①氏名・性別・生年月日 ②世帯主・続柄 ③職業

(2) 健康状況

- ①身体的状況（体調，健診の受診状況，疾病の状況，治療状況）
- ②心理的状況（K6，睡眠・食欲・飲酒・体重減少・増加の状況，相談相手の有無）
- ③身体活動・社会性の状況（震災後の活動量，地域とのつながり）
- ④福祉制度の活用状況（介護保険の状況，障害者手帳の有無，サービス利用の状況）

6 調査方法 戸別訪問による配布・回収（一部郵送）

7 集計分析 宮城県

8 市町村支援

- (1) 市町村において要確認者を選定するに当たって，県で基準の目安を示す。
- (2) 市町村の要望に応じて，要確認者の選定及び確認を県の保健師等が支援する体制を築く。